



完成したバナナボートをいただきま〜す



スリル満点の「そりでジャンプ池越えゲーム」



息の合った演舞を披露するよさこい知求群会



冬の夜空に咲く色とりどりの打ち上げ花火



地球村冬物語

冬を思い切り満喫



がる地球村で2月10日、「地球村冬物語」が開催され、市内外から訪れた家族連れらが冬のイベントを満喫しました。開

会セレモニーでは、主催者である知求群会の葛西務会長が「今年は天候にも恵まれました。最後までゆつくり楽しんでください」とあいさつ。福島市長も「普段は雪かきで苦労していると思いますが、今日は雪と親しんでいい一日にしてください」と呼び掛けました。

恒例となった「世界一長いバナナボート作り」。このイベントは、地元食材を使った地域の活性化を目指して平成20年からスタート。市産つがるロマンの米粉を使用し、20年は50歳、21年は75歳、22年は100歳、23年は111歳、昨年は150歳と毎年長くして、今年は、約1000人の参加者が長さ155歳に挑戦しました。使用した材料は、米粉入りスポンジ生地570枚、バナナ1000本、



寒さも忘れて元気に遊ぶ子どもたち



熱戦を繰り広げる氷上綱引き



雪上障害物マラソン



競技を見ながら楽しむ家族や友人ら



真冬のかき氷早食い競技



雪だるま作り大会で優勝した五農チーム



大盛況の道の駅出店コーナー



また、よさこい知求群会による演舞や豪華賞品が当たる抽選会が会場を盛り上げ、最後に打ち上げ花火が冬の夜空を彩り、来場者を魅了しました。

生クリーム200^ロ。参加者は、ラップの上に並べられたスポンジ生地の上にクリームを塗ってバナナを乗せて巻いた後、息を合わせてゆつくり持ち上げ見事完成。できたてのバナナボートを全員で味わいました。会場では、そり滑りや雪だるま作り大会などの多彩な競技が行われたほか、津軽地方の道の駅が軒を連ね、来場者は冬の味覚を堪能していました。